

別紙-4-3-17

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	評 価 対 象	評 価 値	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ほえ	(21) 基礎工事(地盤改良等を含む)			品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足している。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 【評価対象項目】		品質が測定項目、測定基準及び規格値を満足しa及びbに該当しない。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	契約書第18条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質				<p><b>【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等)】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>杭等の規格・品質を確認できる資料が整理されている。</li> <li>杭の運搬・保管状態が適切で、損傷および補修跡がないことが確認できる。</li> <li>杭芯位置、水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認でき、削孔機械の据付が安定している。</li> <li>配筋、ハッチの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>ライアートの組立にあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</li> <li>溶接工の投量が確認でき、溶接作業環境が適切である。</li> <li>溶接の品質管理に関して、組立・加工精度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>場所打杭について、ドリ管をコンクリート内に2m以上挿入し施工していることが確認できる。</li> <li>掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li>裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。</li> <li>スラムの除去を確実にしていることが確認できる。</li> <li>支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。</li> <li>杭先端処理が適切に行われていることを示す資料が確認できる。</li> <li>強度確認、セメントの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。</li> <li>既成杭の打止め管理の方法及び場所打ち杭の施工管理方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。</li> <li>杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。</li> <li>その他 理由： _____</li> </ol> <p><b>【地盤改良関係(サンド・砕石・レーン、バースト・レーン、サンドコンパクションイック、ロッドコンパクション等含む)】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>杭芯位置、水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認でき、削孔機械の据付が安定している。</li> <li>改良材の品質・使用量が管理され、設計図書の使用を満足していることが確認できる。</li> <li>改良材の配合、比重、噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。</li> <li>事前に土質試験等を実施し、改良材の選定、必要量の設定等を行っていることが確認できる。</li> <li>施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。</li> <li>施工管理方法が施工計画書等に記載され、整備されている。</li> <li>施工記録が整理され、適切な施工が確認できる。</li> <li>改良体の形状寸法が設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li>控工の施工上の注意事項(仕様書による)が守られている。</li> <li>その他 理由： _____</li> </ol> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a            評価値が80%以上90%未満・・・・ b            評価値が60%以上80%未満・・・・ c            評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d</p>				
			0 0					

別紙-4-3-18

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	評価対象	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(22) 仮設工事	評価対象	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足している。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 【評価対象項目】		品質が測定項目、測定基準及び規格値を満足しa及びbに該当しない。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	契約書第18条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II 品質		評価対象	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 使用材料の品質確認資料が整理されている。</li> <li>2. 運搬・保管状態が適切で、使用材料のそり・ゆがみ・傷等がない。</li> <li>3. 組立・設置が確実になされ、かつ点検も行われている。</li> <li>4. 溶接工の技量が確認でき、溶接作業環境が適切である。</li> <li>5. 継杭・継欠板における溶接の品質管理に関して、組立・加工精度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li>6. 腹起しの設置状況が適切である。 (施工にあたり、受け金物、吊りワイヤ等によって支持し、また欠板と十分密着させている。)</li> <li>7. 控え板・タイロッドの取り付け状況が適切である。</li> <li>8. 周辺環境（騒音・振動・地盤変動等）に配慮した施工方法で実施している。</li> <li>9. 施工記録等により設計条件に適合した根入れ長で施工されていることが確認できる。</li> <li>10. 排水を考慮し、良好な床付け面を確保している。</li> <li>11. その他</li> </ol>				
		0 0	理由： _____				
			評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d				

別紙-4-3-19

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	評 価 対 象	評 価 値	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	(23) 下水道工事			品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足している。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 【評価対象項目】		品質が測定項目、測定基準及び規格値を満足しa及びbに該当しない。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	契約書第18条に基づき、監督員が改造請求を行った。	
II. 品質				【共通】 1. マホメ用品の規格・品質がシートで確認できる。 2. 管渠の規格・品質がシートで確認できる。 3. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。 （※ $\odot$ マークを取得していない工場で製造されたコンクリートや、 $\odot$ マーク取得工場であってもIIS A5308以外のレディミキストコンクリートを用いる場合に評価対象とする。） 4. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 5. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 6. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、凝固時のパイプレナの機種、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） 7. 施工基盤面が良好であることが確認できる。 8. 管渠の接合状態が良好であることが確認できる。					
				【閉削工】 9. 締固めを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。 10. 理め戻し材料の品質が確認できる。 11. アスファルト混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 12. その他 理由： _____					
				【推進工】 13. 測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 14. 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。 15. 推進作業等がデータで確認できる。 16. 裏込めの注入状況が確認できる。 17. 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 18. その他 理由： _____					
				【シールド工】 19. セグメントの規格・品質がシートで確認できる。 20. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 21. 二次コンクリート打設前にあたり、作業員の技量確認を行っている。 22. 常に切羽及び地表面の状態を確認して施工されていることが確認できる。 23. シールド推進作業等がデータで確認できる。 24. 裏込め注入状況がデータで確認できる。 25. 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 26. その他 理由： _____					
				該当項目が90%以上・・・・・・・・・・a 該当項目が80%～90%未満・・・・・・・・・・b 該当項目が60%～80%未満・・・・・・・・・・c 該当項目が60%未満・・・・・・・・・・d					
			0	0					

〔記入方法〕該当する項目の□にレマークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	評 価 対 象	評 価	a	b	c	d	e
3. 出来形 及び出来 ばえ	(2) 電線共同溝 工事			品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足している。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 〔評価対象項目〕		品質が測定項目、測定基準及び規格値を満足しa及びbに該当しない。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	契約書第18条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II 品質				1. 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 2. 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 3. プラト出荷時、現場到着時、舗設持等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 4. 特殊部の施工基面の支持力が均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 5. 特殊部の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 6. 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7. 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 8. 管枕及び理設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9. 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 10. その他 理由： _____				
			0 0	評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ b 評価値が60%以上80%未満・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・ d				

〔記入方法〕該当する項目の□にレマークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	評 価 対 象	評 価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ほえ II. 品質	(25) 維持工事 (清掃工、付属、物工、除雪、応急処理等)			<p>〔評価対象項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜的確に行っていることが確認できる。</li> <li>2. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</li> <li>3. 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</li> <li>4. 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。</li> <li>5. 理由：_____</li> <li>6. 理由：_____</li> <li>7. 理由：_____</li> <li>8. 理由：_____</li> </ol> <p>●判断基準                      該当項目が5項目以上・・・a                      該当項目が3項目以上・・・b                      該当項目が2項目以下・・・c</p> <p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を	契約書第18条に基づき、監督員が改造請求を行った。
		0	0					
	(26) 修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)			<p>〔評価対象項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</li> <li>2. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</li> <li>3. 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</li> <li>4. 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕計画等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。</li> <li>5. 理由：_____</li> <li>6. 理由：_____</li> <li>7. 理由：_____</li> <li>8. 理由：_____</li> </ol> <p>●判断基準                      該当項目が5項目以上・・・a                      該当項目が3項目以上・・・b                      該当項目が2項目以下・・・c</p> <p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	契約書第18条に基づき、監督員が改造請求を行った。
		0	0					

別紙-4-3-22

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	評価対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(27) 機械設備工事			適切である	ほぼ適切である	他の詳細に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	契約書第18条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質				<p>〔評価対象項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確認ができる。</li> <li>2. 設備の機能及び性能が、設計・承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。</li> <li>3. 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。</li> <li>4. 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。</li> <li>5. 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li>6. 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li>7. 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。</li> <li>8. 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li>9. 電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。</li> <li>10. 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。</li> <li>11. 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。</li> <li>12. 二次コンクリートの配合試験及び試験練を実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。</li> <li>13. バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。</li> <li>14. 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。</li> <li>15. 回転部や高温部等の危険箇所に表示または防護をしていることが確認できる。</li> <li>16. 構造物劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</li> <li>17. 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</li> <li>18. 設備・機器及び付属物の取り付け等が設計・承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。</li> <li>19. 完成図書・取扱説明書を工夫し作成（改造・更新・修繕の場合は修正）していることが確認できる。（※編集手法について評価する。）</li> <li>20. 完成図書・取扱説明書において、設備の機能並びに操作方法が容易に判別できる。</li> <li>21. 完成図書・取扱説明書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備している。</li> <li>22. 完成図書・取扱説明書において、部品等の点検方法やその時期、交換を要する部品や交換方法及び場所について、まとめている。</li> <li>23. その他 理由： _____</li> </ol> <p>評価値が90%以上・・・a            評価値が80%以上90%未満・・・b            評価値が60%以上80%未満・・・c            評価値が60%未満・・・d</p>				
			0 0					

別紙-4-3-23

〔記入方法〕該当する項目の□にレマークを記入する。

							(検査員)								
[ 調査項目 ]		[ 工 種 ]		a	b	c	d	e							
				適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない									
3. 出来形及び出来ばえ	(28)	電気設備工事 (照明設備・変電設備・その他類似工事含む)	評価対象	評価	[ 評価対象項目 ]			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が修補指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。						
					1. 製作着手前に、品質や性能の確保にかかる技術検討が実施していることが確認できる。	2. 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	3. 溶接・塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥がなく満足している。			4. 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。	5. 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。	6. 設備・機器及び付属物の取り付け等が設計・承諾書に基づき施工されていることが確認できる。	7. 操作スイッチや表示灯が設計図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。	8. ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。	9. 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
II. 品質					[ 評価対象項目 ]			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が修補指示を行い	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。						
					1. 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。	2. 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。	3. 溶接・塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥が無く満足している。			4. 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	5. 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	6. ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。	7. 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。	8. 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。	9. 設備・機器及び付属物の取り付け等が設計・承諾書に基づき施工されていることが確認できる。

別紙-4-3-24

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	評 価 対 象	評 価 値	a	b	c	d	e
3. 出来形 及び出来 ばえ	(30) 上記以外の 工事又は 合併工事			品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足している。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 〔評価対象項目〕		品質が測定項目、測定基準及び規格値を満足しa及びbに該当しない。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	契約書第18条に基づき、監督員が改造請求を行った。
II. 品質				1. 理由： 2. 理由： 3. 理由： 4. 理由： 5. 理由：				
			0 0	評価値が90%以上・・・・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・d				
				※ 主たる工種の考查事項で考查し、最大考查項目は5項目とする。				



考査項目	細 別	評価対象	a	a'	b	b'	c	d	e			
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 (31. 管布設工事)	評価対象	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		評価	<p>□品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足している。【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</p> <p>[評価対象項目]</p> <p><b>【ダクタイル鋳鉄管・ポリエチレン管の接合】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>施工計画書に使用資材の品質が記載され、実使用資材と一致することが確認できる。</li> <li>施工計画書にメカニカル、フランジ、ポリエチレン管接合の品質管理等について記載されている。</li> <li>施工計画書に記載された接合方法、品質管理が現場施工と一致していることが確認できる。</li> <li>水道用資機材は日本水道協会の検査に合格した製品とし、受験証明書の提出がある。</li> <li>日本水道協会検査済書が、材料検査時に提出された。</li> <li>管材等、工事現場に入った材料の管理が適切である。</li> <li>管の接合状況が良好であることが確認できる。</li> <li>メカニカル、フランジ、ポリエチレン管接合の結果が、適切に記録されている。</li> <li>メカニカル接合作業等の重要作業については自社管理が実施されている。</li> <li>接合作業は有資格者が実施しており出来形管理表の記載と一致する。</li> <li>天候に応じ、管接合の品質が高まるよう現場環境を整えていることが、写真などの記録からわかる。</li> <li>管内外面塗装傷の補修が確実に行われ検査時に未補修がない。</li> <li>切管（金属製）の切断面は、切管鉄部用塗料により防食塗装がなされている。</li> <li>管内には土砂、ゴミ等が残っていない。</li> </ol> <p><b>【開削工・管撤去工】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>管布設基礎面が良好であることが確認できる。</li> <li>締めを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。</li> <li>締め試験を行い、品質を確認している記録がある。</li> <li>埋め戻し材料の品質が確認できる。</li> <li>土留工は、周囲の状況を考慮し、機材、方法等を選定し施工したことが確認できる。</li> <li>土留工の打込みに先行し、支障となる埋設物の確認を行った。</li> <li>アスファルト混合物の温度管理が、プラント出荷時、現場到着時及び舗設時等で整理、記録されている。</li> <li>管の吊り込み、据付け等に十分注意を払っていることが確認できる。</li> <li>吊り込みに必要なナイロンスリングなどの耐荷重、玉掛方法を定めて施工されていることが確認できる。</li> <li>舗装の仮復旧箇所を巡視点検した記録があり、補修をしている。</li> <li>異形管等の布設後の位置を明らかにするオフセット図が作成されている。</li> <li>埋設マーカーを必要な個所に設置し、記録がある。</li> <li>一時撤去した他占有物件を適切な時期、位置に復元し記録がある。</li> <li>他占有物件の防護が適切に行われ、記録がある。</li> <li>その他</li> </ol> <p>理由：</p> <p><b>【推進工】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ヒューム管の規格、品質が確認できる。</li> <li>シール材などの性能を現場に応じて適切に選定、設置している。</li> <li>測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。</li> <li>常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。</li> <li>管内の緊急時に備えた、センサー、警報装置などを現場に応じて適切に選定、設置している。</li> <li>管内の緊急時に備え、安全訓練を実施している。</li> <li>推進作業がデータで確認できる。</li> <li>近接構造物の変異調査を適切に行い、記録している。</li> <li>埋設道路の路面状況の変異調査を適切に行い、記録している。</li> <li>裏込めの注入状況が確認できる。</li> <li>地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。</li> <li>地盤改良結果を、切羽、原位置で確認した記録が確認できる。</li> <li>地盤改良による水質検査を実施し、記録が確認できる。</li> <li>その他</li> </ol> <p>理由：テストその他理由 推進工</p> <p><b>【シールド工】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>セグメントの規格・品質がシールドで確認できる。</li> <li>シール材などの性能を現場に応じて適切に選定、設置している。</li> <li>セグメントの組み立て要領書があり、施工状況と一致している。</li> <li>二次コンクリート打設要領書があり、施工状況と一致している。</li> <li>常に切羽及び地表面の状態を確認して施工されていることが確認できる。</li> <li>管内の緊急時に備えた、センサー、警報装置などを現場に応じて適切に選定、設置している。</li> <li>管内の緊急時に備え、安全訓練を実施している。</li> <li>シールド推進作業等がデータで確認できる。</li> <li>近接構造物の変異調査を適切に行い、記録している。</li> <li>埋設道路の路面状況の変異調査を適切に行い、記録している。</li> </ol>							<p>□品質が測定項目、測定基準及び規格値を満足し、他の評価に該当しない</p>	<p>□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。・検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。</p>	<p>□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>

考査項目	細 別	評価対象	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 (31. 管布設工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足している。【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 裏込め注入状況がデータで確認できる。 <input type="checkbox"/> 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 <input type="checkbox"/> 地盤改良結果を、切羽、原位置で確認した記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> 内挿管の設置計画を作成し、設置記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： <b>【弁室工】</b> <input type="checkbox"/> マンホール用品直壁等の規格・品質がミルシート等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 弁篋の据付けは、維持管理、操作等に支障が無いように、具体的な設置向きを、周辺道路、家屋等を考慮している。 <input type="checkbox"/> マンホールと管の間に隙間がなく、転圧、間詰が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 組み立てマンホール間の設置が適切で、ずれ・隙間などがない。 <input type="checkbox"/> マンホール上面と道路面が平滑に仕上がっている。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ及び空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの機種及び養生方法等を適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む。） <input type="checkbox"/> 鉄筋の加工及び組立、かぶりが設計図書の仕様を満足していることが確認でき鉄筋固定方法が適切である。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外しが適切に管理されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設面に補修がない。または、適切に補修が行われている。 <input type="checkbox"/> 基礎杭の支持力が確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎杭の杭頭処理が適切に行われ、記録で確認できる。	□ "	□ "	□ "	□品質が測定項目、測定基準及び規格値を満足し、他の評価に該当しない	□	□	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
	計	<input type="checkbox"/> 評価基準 評価値が95%以上・・・・・・・・ a 評価値が90%～95%未満・・・・ a 評価値が85%～90%未満・・・・ b 評価値が80%～85%未満・・・・ b 評価値が60%～80%未満・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・ d <b>●備考</b> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目はチェックをはずす。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。							

考査項目	細 別	評価対象	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 (32. 管製作接合工事)	評価対象	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足している。【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】	□ "	□ "	□ "	<input type="checkbox"/> 品質が測定項目、測定基準及び規格値を満足し、他の評価に該当しない	□	□
		計	【評価対象項目】 1. 施工計画書に使用資材の品質が記載され、実使用資材と一致することが確認できる。 2. 施工計画書に配管施工図が添付され管番号や接合番号が管理できる管理図表が添付されている。 3. 施工計画書に接合管理書様式が添付されて、品質管理基準が明示されている。 4. 施工計画書に伸縮管の管理図表様式が添付されて、品質管理基準が明示されている。 5. 施工計画書に溶接棒等の品質、施工時の電圧管理方法について記載され、現場施工と一致していることが確認できる。 6. 施工計画書に管内作業時の必要換気量や安全対策が計画されている。 7. 施工計画書に管定置場所やシールド管内への作業通路・人員管理の安全対策が計画されている。 8. 施工計画書にメカニカル接合・フランジ接合の品質管理等について記載され、現場施工と一致していることが確認できる。 9. 切管の切断面は、切管鉄部用塗料により防食塗装がなされている。 10. 管材入荷時に水協検査証の提出がある。 11. 管材等、工事現場に入った材料の管理が適切である。 12. 溶接等の作業は有資格者が実施しており、出来形管理表の記載と一致する。 13. 溶接等の作業時には、工場塗装、既設管塗装を防護する措置が取られている。 14. 管内外面塗装傷の補修が確実に行われ、検査時に未補修がない。 15. 塗覆装の補修は、下地処理を適切に行い、塗膜厚、ピンホール検査等の品質管理も適切に記録されている。 16. 伸縮管の変位量測定管理書が、適切に記録されている。 17. 管内には土砂、ゴミ等が残っていない。 18. 溶接作業、塗料作業、メカ接合作業等の重要作業については自社管理が実施されている。 19. 溶接作業、塗料作業、メカ接合作業等の品質管理記録と作業状況写真が整合していることが確認できる。 20. 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 21. 塗装作業は、温度や湿度を管理し塗装面が適切な状態であることを確認して施工していることが確認できる。 22. 現場溶接のレントゲン検査等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 23. 現場溶接の超音波探傷検査について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 24. 現場溶接の浸透探傷検査について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 25. 内面溶接は、適切な換気がなされ、作業員の安全管理がなされている。 26. 溶接ヒュームに汚染、吸入しないように作業の方法を検討し、対策がなされ、作業員の安全管理がなされている。 27. 不断水工で設置する分岐管等は堅固に据付け、ボルト締めや溶接等が適切に施工管理されている。 28. 不断水工機材は、既設管に負荷を与えないものとし、水圧試験を実施し、発生する切りくず、切断片等は管外に排出している。 29. 不断水工は、鋼管路の絶縁、新設管との接続等の電食防止対策に配慮している。 30. その他 理由：					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。・検査時に評価対象項目について不備があり改善させた。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			●評価基準 評価値が95%以上・・・・・・ a 評価値が90%～95%未満・・・・ a 評価値が85%～90%未満・・・・ b 評価値が80%～85%未満・・・・ b 評価値が60%～80%未満・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・ d						
			●備考 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目はチェックをはずす。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。						

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	評価対象	評価		a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている		
3. 出来形及び出来ばえ	1. コンクリート構造物工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価対象項目</li> <li>1. コンクリート構造物の表面状態が良い。</li> <li>2. コンクリート構造物の通りが良い。</li> <li>3. 天端、端部等の仕上がりが良い。</li> <li>4. クラック(ヘアクラック含む)がない。</li> <li>5. 漏水がない。</li> <li>6. 全体的な美観が良い。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	2. 土工事 (切土、盛土、築堤工事)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価対象項目</li> <li>1. 仕上げが良い。</li> <li>2. 通りが良い。</li> <li>3. 天端及び端部の仕上げが良い。</li> <li>4. 構造物へのすりつけ・とりあいなどが良い。</li> <li>5. 規定された勾配が確保されている。</li> <li>6. 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石・木根等が除去されているなど、適切に施工されている。</li> <li>7. 切土法面の勾配の変化部について、緩衝部を設けるなど適切に施工されている。</li> <li>8. 雨水・湧水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。</li> <li>9. 全体的な美観が良い。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	3. 補強土壁工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価対象項目</li> <li>1. 壁面材の割れ、欠け、汚れ、変形等がない。</li> <li>2. 基礎上面の平坦性が良い。</li> <li>3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。</li> <li>4. 壁面材の目違、段差が少なく構造物の通りが良い。</li> <li>5. 全体的な美観が良い。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

●判断基準  
 評価値が90%以上・・・・・・・・a  
 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・b  
 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・c  
 評価値が60%未満・・・・・・・・d

別紙-4-4-2

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

( 検 査 員 )

検査項目	工 種	評価対象	評価	a		b		c		d	
				優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	4. 取壊し工事			● 評価対象項目							
				1. きめ細やかな施工がされている。							
				2. 既存部分や関連設備との調整がなされている。							
				3. 取壊し後の整地仕上りの状態が良好である。							
				4. 取壊し対象物・材の散乱がなく、処理が適切である。							
5. 周辺への影響は無かった。											
		0	0								
	5. 二次製品構造物工事			● 評価対象項目							
				1. 構造物の通りが良い。							
				2. 材料の連結、かみ合わせが良い。							
				3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。							
				4. 製品に割れ、欠けがない。							
5. 漏水がない。											
6. 周辺地形・他構造物等との取り合いが良い。											
7. 全体的な美観が良い。											
		0	0								
	6. 鋼橋工事			● 評価対象項目							
				1. 表面に補修箇所が無い。							
				2. 部材表面に傷及び錆が無い。							
				3. 溶接に均一性がある。							
				4. 塗装に均一性がある。							
5. 支承部の仕上げが良い。											
6. 付属物工の取り付けが良い。											
7. 全体的な美観が良い。											
		0	0								
	7. 塗装工事 (工場塗装を除く)			● 評価対象項目							
				1. 塗装の均一性が良い。							
				2. 細部まできめ細やかな施工がされている。							
				3. 補修箇所が無い。							
				4. ケンの施工状況が良好である。							
5. 周辺への影響が無かった。											
6. 全体的な美観が良い。											
		0	0								
	8. 護岸・根固・水制工事			● 評価対象項目							
				1. 通りが良い。							
				2. 材料のかみ合わせが良い。							
				3. 天端、端部の仕上げが良い。							
				4. 既設構造物とのすりつけが良い。							
5. クラックがない。											
6. 製品に割れ、欠けがない。											
7. 全体的な美観が良い。											
		0	0								

●判断基準  
 評価値が90%以上・・・・・・・・・・a  
 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・b  
 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・c  
 評価値が60%未満・・・・・・・・・・d

別紙-4-4-3

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	評価対象	評価	a		b		c		d	
				優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	9. 海岸工事			● 評価対象項目							
				1. コンクリート構造物の表面状態が良い。							
				2. コンクリート構造物の通りが良い。							
				3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。							
				4. クラック(ヘアクラック含む)がない。							
5. 漏水がない。											
6. ドロッグ等のかみ合わせがよく、安定している。											
7. 全体的な美観が良い。											
		0	0								
	10. 砂防構造物工事 地すべり (集水井戸工事を含む)			● 評価対象項目							
				1. コンクリート構造物の表面状態が良い。							
				2. コンクリート構造物の通りが良い。							
				3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。							
				4. クラックがない。							
5. 漏水がない。											
6. 地山との取り合いが良い。											
7. 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが何える。											
8. 全体的な美観が良い。											
		0	0								
	11. コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象)			● 評価対象項目							
				1. コンクリート構造物の表面状態が良い。							
				2. コンクリート構造物の通りが良い。							
				3. 天端及び端部の仕上げ等が良い。							
				4. 支承部の仕上げが良い。							
5. クラック(ヘアクラック)が無い。											
6. 付属物工の取り付けが良い。											
7. 全体的な美観が良い。											
		0	0								
	12. 舗装工事 (改良系)			● 評価対象項目							
				1. 舗装の平坦性が良い。							
				2. 構造物の通りが良い。							
				3. 端部処理が良い。							
				4. 構造物や既設舗装へのすりつけ等が良い。							
5. 雨水処理が良い。											
6. 全体的な美観が良い。											
		0	0								
	13. 舗装工事 (修繕系)			● 評価対象項目							
				1. 舗装の平坦性が良い。							
				2. 構造物の通りが良い。							
				3. 端部処理が良い。							
				4. 構造物や既設舗装へのすりつけ等が良い。							
5. 雨水処理が良い。											
6. 全体的な美観が良い。											
		0	0								

● 判断基準  
 評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a  
 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・ b  
 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・ c  
 評価値が60%未満・・・・・・・・・・・・ d

別紙-4-4-4

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

( 検 査 員 )

考查項目	工 種	評価 対象	評価	a	b	c	d				
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている				
3. 出来形 及び出来 ばえ	14. 法面工事		● 評価対象項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 通りがよい。</li> <li>2. 植生、吹付等の状態が均一である。</li> <li>3. 発芽・生育状態が良い。</li> <li>4. 吹き付け表面の割れが無い。</li> <li>5. 端部処理が良い。</li> <li>6. コンクリート構造物の表面状態がよい。</li> <li>7. クラックがない。</li> <li>8. 全体的な美観が良い。</li> </ul>							
	15. トンネル工事		● 評価対象項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. コンクリート構造物の表面状態が良い。</li> <li>2. コンクリート構造物の通りが良い。</li> <li>3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。</li> <li>4. クラックがない。</li> <li>5. 漏水がない。</li> <li>6. 全体的な美観が良い。</li> </ul>							
	16. 植栽工事		● 評価対象項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 樹木の活着状況が良い。</li> <li>2. 個々の樹木整姿が良い。</li> <li>3. 植え付け面の仕上げが良い。</li> <li>4. 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。</li> <li>5. 支柱の取り付けが堅固である。</li> <li>6. 全体的な美観が良い。</li> </ul>							
	17. 建築工事 (土木関連)		● 評価対象項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 建物の通り、形状が良い。</li> <li>2. 仕上げの均一性、平直性が良い。</li> <li>3. 機能面での配慮が適切である。</li> <li>4. 防水の納まりが良好である。</li> <li>5. 関連工事との取り合いが良い。</li> <li>6. 全体的な美観が良い。</li> </ul>							

●判断基準  
 評価値が90%以上・・・・・・・・・・a  
 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・b  
 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・c  
 評価値が60%未満・・・・・・・・・・d

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	評価対象	評価	a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	18. 標識工事 区画線設置等工事 防護柵（網）工事			<b>【防護柵（網）工事】</b> ● 評価対象項目 1. 通りが良い。 2. 端部処理が良い。 3. 部材表面に傷及び、錆がない。 4. 既設構造物等とのすりつけが良い。 5. きめ細やかに施工がなされている。 6. 全体的な美観が良い。			
	防護柵（網）工事 標識工事			<b>【標識工事】</b> ● 評価対象項目 1. 設置位置に配慮がある。 2. 標識板の向き、並びに角度、及びその支柱の通りが良い。 3. 部材表面に傷及び、錆がない。 4. 標識板の支柱に変色が無い。 5. 支柱基礎工周辺の仕上がりが入念に埋め戻されている。 6. 全体的な美観が良い。			
	区画線設置等工事			<b>【区画線工事】</b> ● 評価対象項目 1. 塗料の塗布が均一である。 2. 視認性が良い。 3. 接着状態が良い。 4. 施工前の清掃が入念に実施されている。 5. 通りが良い。 6. 全体的な美観が良い。			
		0	0				
19.	浚渫、覆砂工事			● 評価対象項目 1. 浚渫・覆砂の全体的な仕上がりが、平均化されている。 2. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 3. 施工の周辺環境への影響は軽微である。 4. 浚渫土の処理が適切である。 5. 浚渫・覆砂の着手・完了時の測量が整備されている。			
		0	0				
20.	港湾築造工事			● 評価対象項目 1. コンクリート構造物の表面状態が良い。 2. コンクリート構造物の通りが良い。 3. 天端仕上げ、端部仕上げがよい。 4. クラックがない。 5. 潮水がない。 6. アロック等のかみ合わせがよく、安定している。 7. 全体的な美観が良い			
		0	0				

●判断基準  
 評価値が90%以上・・・・・・・・・・a  
 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・b  
 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・c  
 評価値が60%未満・・・・・・・・・・d



〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	評価対象	評価	a		b		c		d	
				優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	基礎工事 (地盤改良等を含む)			● 評価対象項目							
				1. 土工関係の仕上げが良い。 2. 通りが良い。 3. 端部及び天端の仕上げが良い。 4. 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 5. 施工箇所の整理がされている。(例：改良材/剤や泥等の散乱がない)							
				0	0						
	仮設工事 (本設含む)			● 評価対象項目							
				1. 鋼矢板・親杭の通りが良い。 2. 覆工板にがたつきがない。 3. 鋼矢板のかみ合わせ等不良部分がない。 4. 床付け面の仕上げがよい。 5. 主・副部材の取付けが適切である。 6. 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 7. 全体的な美観が良い。							
				0	0						
23. 下水道工事				● 評価対象項目							
				[共通]							
				1. 通りが良い。							
				2. 漏水がない。							
				3. クラックがない。							
				4. マンホウ天端と路面とのすりつけが良い。							
				5. マンホウのイハートの仕上げが良い。							
				6. 残土等は適切に処理されている。							
				[管路]							
				7. 管路の割れ、欠けがない。							
				8. 継ぎ手面にパッキンの設置が確実になされている。							
				9. 管路間の目違い、段差が少ない。							
				10. 管路継ぎ手部のボルトの締め付け状況がよい。							
				11. 全体的な美観が良い。							
				[シート]							
				12. RCセメントの割れ、欠けがない。							
		13. 継ぎ手面の防水が確実になされている。									
		14. セメント間の目違い、段差が少ない。									
		15. ボルトの締め付け状況が良い。									
		16. 全体的な美観が良い。									
		0	0								
24. 電線共同溝工事				● 評価対象項目							
				1. 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。							
				2. プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。							
				3. 施工管理記録などから、不可視部分の出来ばえの良さが伺える。							
				4. 関連する付属構造物・施設の掘削等仕上がりが良い。							
		0	0	5. 全体的な美観が良い。							

● 判断基準  
 評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a  
 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・ b  
 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・ c  
 評価値が60%未満・・・・・・・・・・・・ d

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

( 検 査 員 )

検査項目	工 種	評価対象	評価	a		b		c		d	
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている				
3. 出来形及び出来ばえ	25. 維持工事 (清掃工、付属物工、除雪、応急処理等)	● 評価対象項目		1. 小構造物等にも注意が払われている。 2. きめ細かな施工がなされている。 3. 既設構造物とのすりつけが良い。 4. 安全性、維持管理等への配慮がされている。 5. 全体的な美観が良い。							
		0	0								
	26. 修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	● 評価対象項目		1. きめ細かな施工がなされている。 2. 構造物の表面状態が良い。 3. 端部の仕上げが良い。 4. 既設構造物とのすりつけが良い。 5. 全体的な美観が良い。							
		0	0								
27. 機械設備工事		● 評価対象項目		1. 主設備、関連設備、操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 2. 機器のすえつけが適切になされている。 3. 土木構造物、既設設備等とのとりあいが良い。 4. 溶接、塗装、組立にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 5. 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 6. 全体的な美観が良い。							
		0	0								
28. 電気設備工事 (照明設備・受変電設備・その他類似工事含む)		● 評価対象項目		1. 機器のすえつけが適切になされている。 2. 安全性の確保、環境、及び維持管理等への配慮がなされている。 3. 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 4. ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 5. 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 6. 全体的な美観が良い。							
		0	0								
29. 通信・弱電・その他類似工事		● 評価対象項目		1. 主設備、関連設備等にきめ細やかな施工がされている。 2. 安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 3. 動作状態において、電氣的及び機械的な異常費が無く、総合的な機能や運用性が良い。 4. 当該設備および関連設備が全体的に協調および統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 5. 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 6. 全体的な美観が良い。							
		0	0								

●判断基準  
 評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a  
 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b  
 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c  
 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d

別紙-4-4-8

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

(検査員)

検査項目	工種	評価対象	評価		c 他の評価に該当しない	d 劣っている
			a 優れている	b やや優れている		
3. 出来形及び出来ばえ	30. 上記以外の工事又は合併工事	<p>● 評価対象項目</p> <p>1. 理由:</p> <p>2. 理由:</p> <p>3. 理由:</p> <p>4. 理由:</p> <p>5. 理由:</p> <p>* 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。</p>	0	0		

● 判断基準  
 評価値が90%以上 . . . . . a  
 評価値が80%以上90%未満 . . . . . b  
 評価値が60%以上80%未満 . . . . . c  
 評価値が60%未満 . . . . . d

考查項目運用表

(検査員)

考查項目	細 別	評価対象	評価	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ(3.1. 管布設工事)			□優れている	□やや優れている	□他の評価に該当しない	□劣っている
				[評価対象項目]			
				<p><b>[共通]</b></p> <p>1. 通りが良い。                  2. コンクリート構造物にクラックがない。                  3. マンホール天端と路面とのすりつけが良い。                  4. 残土等は適切に処理されている。                  5. 周辺の環境等に配慮された、施工がなされている。                  6. 関連する付属構造物、施設の据付等仕上がりがよい。                  7. 仮設工及び舗装復旧等が現地状況を充分把握され施工されている。                  8. 舗装本復旧工の仕上がりがよい。</p>			
				<p><b>[管路]</b></p> <p>9. 管路に補修がない。                  10. 継ぎ手が確実になされている。                  11. 管路の据付けが適切になされている。                  12. 全体的な管路の線形が良い。</p>			
				<p><b>[推進工・シールド]</b></p> <p>13. 推進用ヒューム管・RCセグメントの割れ、欠けがない。                  14. 推進用管、セグメント継ぎ手面の防水が確実になされている。                  15. セグメント間の目違い、段差が少ない。                  16. ボルトの締め付け状況が良い。                  17. 発進・到達立坑の埋設跡の復旧の仕上がりがよい。                  18. 全体的な美観が良い。</p>			
				<p>●評価基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a                  評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b                  評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c                  評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d</p>			
				<p>●備考</p> <p>① 当該「評定項目」のうち、評価対象外の項目はチェックをはずす。                  ② 削除のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) 計算値の値で評価する。                  ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>			
計							

考查項目運用表

(検査員)

考查項目	細別	評価対象	評価	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ(管製作接合工事)			□優れている	□やや優れている	□他の評価に該当しない	□劣っている
				[評価対象項目]			
				1. 溶接、メカ接合に均一性がある。 2. 塗装に均一性がある。 3. 塗装の補修箇所がない。 4. 管内の清掃状況が確認でき、仕上りが良い。 5. 関連工事との工程管理が良好であった。 6. 全体的な美観が良い。			
				●評価基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d			
				●備考 ① 当該「評定項目」のうち、評価対象外の項目はチェックをはずす。 ② 削除のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算値の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
計							